

	福井大学 工学分野
学部等の教育研究 組織の名称	工学部（第1年次:525 第3年次:30） 大学院工学研究科（M:253 D:22）
沿 革	大正12（1923）年 福井高等工業学校創立 昭和19（1944）年 福井工業専門学校に改称 昭和24（1949）年 新制福井大学工学部設置 昭和40（1965）年 大学院工学研究科修士課程設置 平成5（1993）年 大学院工学研究科博士課程設置 大学院工学研究科修士課程を、大学院工学研究科博士 前期課程に再編
設置目的等	<p>大正12年、福井大学工学部・工学研究科の母体の一つである福井高等工業学校は、繊維・機械・建築を中心とした地域産業に従事する技術者への学術・技芸の付与を目的として設置され、昭和19年、福井工業専門学校に改称された。</p> <p>新制国立大学の発足時には、福井工業専門学校は、福井大学工学部として承継された。</p> <p>昭和40年に、設定された研究課題を独力で解決する能力を持つ技術者を養成することを目的に、工学研究科修士課程が設置された。</p> <p>平成5年に、新規の研究開発課題を自ら設定し独力で解決する能力をもつ技術者・研究者を養成することを目的に工学研究科博士課程が設置され、工学研究科修士課程が工学研究科博士前期課程に再編された。</p>
強みや特色、 社会的な役割	<p>福井大学においては、「夢を形にする技術者の育成」を基本目標としつつ、専門知識・教養・実践的能力を身に付け、グローバル社会において指導的な立場を担うことができる高度専門技術者の育成、社会のニーズに応え、イノベーションに寄与する研究及びこれらを通じた社会貢献に取り組んでおり、以下の強みや特色、社会的な役割を有している。</p> <p>○ 工学の全ての分野での教育研究を遂行し、その成果を以って人間社会の持続的発展に寄与するという理念のもと、学生の力を最大限に伸ばす教育を展開し、専門知識や研究能力に加え、工学の広い分</p>

野に対応できる総合的な実践力と倫理観を備えた国際的に通用する高度な専門技術者等の育成の役割を充実するとともに、広い知識と見識に支えられ、専門性だけでなく学際性・実践力も身に付け、大学等の研究職のみならず企業の第一線でも活躍できる高度な研究能力を有する先導的な人材育成の役割を果たす。

- グローバル人材の育成推進、学士力を涵養する教育の充実や産業現場に即応する実践力を有した博士人材の育成など、創造力・実践力・人間力の観点から学生の個性に応じた教育を行うとともに国際的通用性のある認定プログラムを積極的に推進してきた実績を生かし、グローバルに活躍できる工学系人材を育成する学部・大学院教育を目指して不断の改善・充実を図る。
- 地場産業と直結し、我が国トップレベルの研究実績を有する繊維・機能性材料工学分野、安全・安心の社会の構築に寄与する原子力・エネルギー安全工学分野や設計工学分野、大型プロジェクト獲得の実績を有する窒化物半導体分野、我が国唯一で世界最高水準のジャイロトロンによる遠赤外領域分野などの先端的な研究実績を生かし、これらを含む工学の諸分野の研究をプロジェクト研究センターとして支援するなど、強く推進する。また、全学レベルの研究推進特区などによる戦略的取組みを通して、医工連携に基づくライフイノベーション、グリーンイノベーションを推進する。
- 「学」と「官」の緊密な連携により地域の産業力を強化する研究シーズを発掘・育成し、「産」を主導して製品化・事業化まで一体的に取り組む“福井方式”を更に推進し、地域のみならず我が国の産業の発展を牽引する。
- 地元産業や福井県からの人材育成の提言を踏まえて、大学と地域が連携して実施している実践的な人材育成プログラムなどを通じて、社会人の学び直しを推進する。